

だれもが
もっと自由に
もっと楽しく
まちに出るために

ねりま区
ユニバーサルデザイン

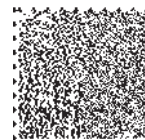
たが
お互いの2
りかい
理解のために 情報編

わたし
私にできる
ちょっとした
したこと



ユニバーサルデザイン(UD)とは

しょうがい う む ねんれい せいべつ げんご た よう ひと り よう
障害の有無、年齢、性別、言語にかかわらず多様な人びとが利用しやすい
と し せいかつかんぎょう かんが かつ
ように、あらかじめ都市や生活環境などをデザインする考え方です。



わたし

私にできる ちょっとした したこと

まちには、さまざまな人が暮らしています。年齢や性別、国籍、障害などにより、不便に感じるものが違います。今回の「情報編」では、だれがどんな方法で情報を得ているかを知ること、お互いの理解を深めていきます。自分と違う方法で情報を入手している人に情報を伝えるための、私にできる“ちょっとしたこと”も掲載していますので、取り組んでみてください。

① 情報の入手方法には、いろいろな種類がある

- ・文字の情報では、情報を得ることができない人もいます。音や点字(注釈1)、さわることで、情報を得ている人もいます。
- ・音声では、情報を得ることができない人もいます。手話や文字などで情報を得ている人もいます。
- ・日本語が苦手な人もいます。図記号(5ページ参照)や色の使い分けから情報を得る人、ひらがなや外国語表記だとわかる人もいます。



② 私たちにもできることがある

- ・音声案内や電光掲示板など、情報を得るときに頼りにしているものは、人によって違います。しかし、これらの整備は、まだ十分ではありません。
- ・そんなとき、近くにいる人が“ちょっとしたこと”で、情報を伝えることができます。
- ・具体的には、冊子3～5ページにある「私にできるちょっとしたこと」をご覧ください。

せき
あちらの席が
あいています



③ 自分でも情報をさがしてみよう

- ・この冊子では、さまざまな立場の人が情報を得る方法も掲載しています。さがしてみましよう。



スマート
フォン



ガイドブック

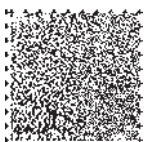
パンフレット



パソコン

(注釈1)点字

タテ3点、ヨコ2点の6つの凸点の組み合わせで、五十音や数字などを表しています。この凸点を指先でさわって読みます。



おんせいじょうほう 音声情報

(注釈2)

しかくしょうがいしゃ とく おんせい おと
視覚障害者は、特に音声や音による
あんない たよ なか
案内を頼りにしています。まちの中にある
いろいろなか せつび おんせいじょうほう で
いろいろな設備からも音声情報が出ています。



気づきのポイント

- 視覚障害者(見えにくい人や見えにくい人)には、特に音声情報が大切です。
- あなたが声をかけることで、視覚障害者がまわりの状況を知ることができます。

さがしてみよう：音声情報

- 信号機の音声による案内
「信号が青になりました」と音声で案内する信号があります。(練馬区)
- バスの車体からの、音声による案内
「このバスは〇〇経由、△△行きです。」(関東バス)

●声かけ

駅のホームから視覚障害者が転落し、電車と接触する事故が起きています。普段は気軽に声かけをすることが大切ですが、危険だと思ったら、「白い杖を持っている方、止まってください、線路に落ちます!」などと具体的に声をかけてください。

●理解を深めよう

「音声や音は大切な情報の一つだとわかるとうるさく感じなくなった」という声もあります。まちの中にある音を頼りにしている人がいることに気づき、理解の気持ちを持ちましょう。

私にできるちょっとしたこと

危ないですよ!

(注釈2) 音声情報
「ここは〇〇です」のような言葉の情報です。「ピンポン」などのような音で表す音情報と区別して使っています。



もじじょうほう 文字情報

聴覚障害者など、文字を頼りにしている人にとって
文字情報は便利ですが、緊急時などにはアナウンス
だけが流れることがあります。その場合、聴覚障害者
や外国人などは状況がわからず困ってしまいます。



つぎ きゅうこう
次の急行に
の
乗ろう

ふだん
普段

きんきゅうじ
緊急時

さいかい ぶん
再開まで40分
かかる予定です

なんぶん
あと何分で
うご
動くのかしら

気づきの ポイント

- 聴覚障害者(聞こえない人や聞こえにくい人)には、特に文字情報が大切です。
- 音声の情報しかない時に、周りの人が簡単に伝える方法があります。

さがしてみよう：文字情報

- 電光掲示板
駅のホームでは、外国語表記もされます。

- 数字の呼び出し
呼び出し番号を音声と文字でお知らせします。(練馬区役所)

●ひと工夫

★手話ができなくても大丈夫。
ほかにも以下の方法があります。

- 身ぶり
- 手のひら書き
- 空書き
- メモ用紙に書く
- 携帯電話のメールやメモ帳に入力

私にできる
ちょっとしたこと

手のひら書き

空書き

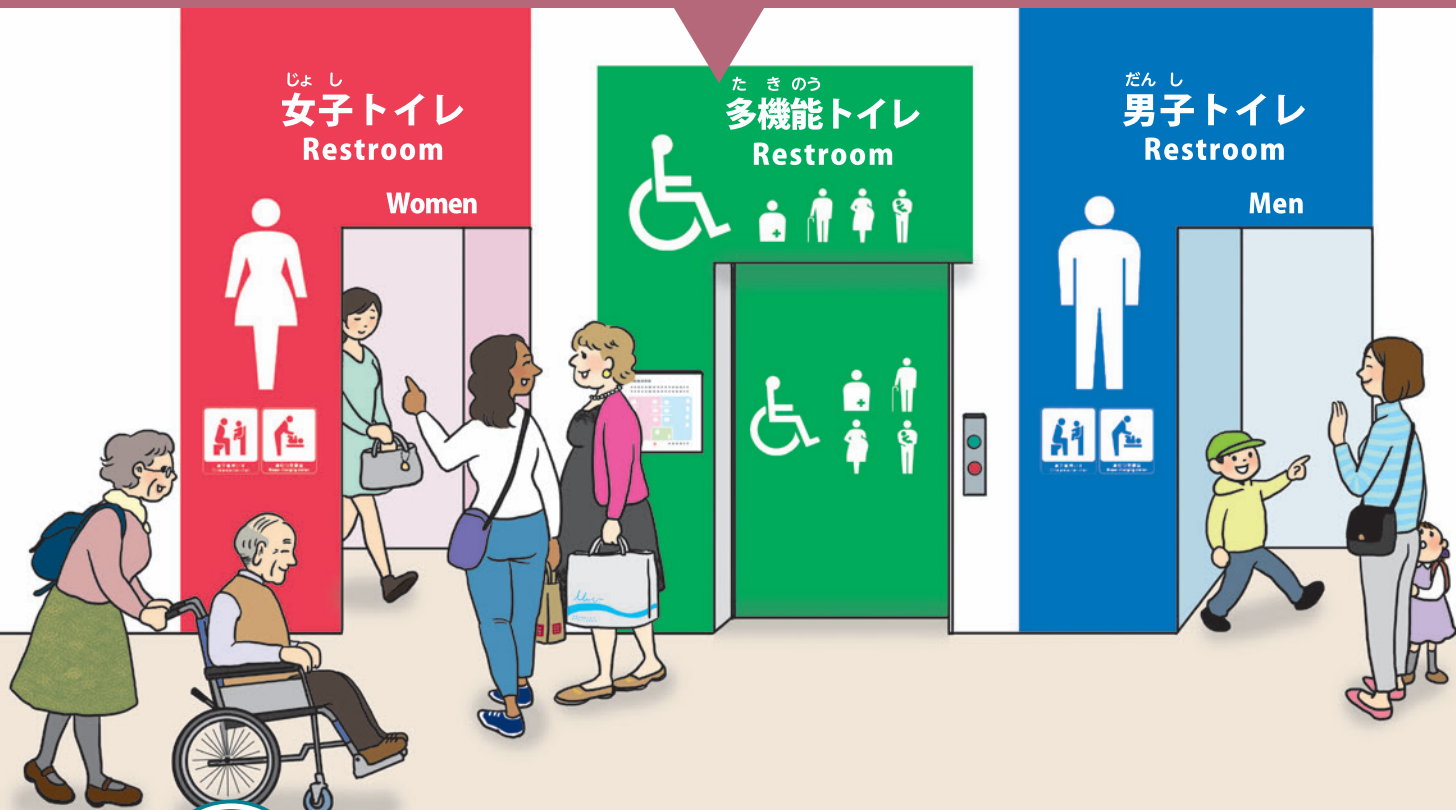
★窓口やお店
など、さまざまな人が利用するところで筆談対応をしている場合には、それを示すマークを掲示すると、聴覚障害者は安心して利用できます。

受付

ず き ごう いろ 図記号・色

(注釈3)

がいこくじん こ ちてきしょうがいしゃ にほんご
外国人や子ども、知的障害者など、日本語が
よめ ひと かんじ ながて ひと
読めない人や漢字などが苦手な人がいます。
もじ いがい つた ほうほう
文字以外で伝える方法があります。



気づきのポイント

- 「図記号」により、文字以外の情報でも理解することができます。
- 色づかいなどを工夫することで、伝わりやすくなることもあります。

Quiz クイズ

ず きごう なに
この図記号は何かな？



整備事例 いろ れい 色づかいの例

●色分けのサイン

庁舎ごとに色分けをして案内しています。(練馬区役所)



●ひと工夫

★色を見分けにくい人もいます。チラシなどの印刷物を作る際には、以下のことに気をつけましょう。

- 背景と文字にコントラストをつける
色の組み合わせに注意し、白黒コピーでも情報が読み取れる状態が望ましいです。
- 色を文字で併記する

私にできる
ちょっとしたこと

右は白黒コピーした例

見えやすい

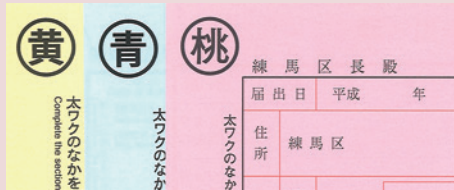
ねりま

ねりま

見えにくい

ねりま

ねりま



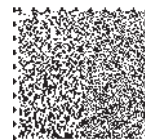
「練馬区印刷物のユニバーサルデザインガイドライン」を区のホームページで公開しています。

(注釈3) 図記号とは

案内用図記号(ピクトグラム)は、言葉によらない、目で見ただけで案内を可能とするものです。(経済産業省ホームページより)

〈クイズの答〉

- 1 身体障害者補助犬法の啓発のためのマーク
- 2 乳幼児用設備(ベビーベッド・授乳室など)があります
- 3 無線LANが使えます



いろいろな情報

かいぎ おこ ひつよう じょうほう
会議などを行うときに必要になる、いろいろな情報

手話通訳

聴覚障害者の中には、手話を使って情報を得たり、自分の意見を伝える人がいます。

発言する時はまず名前を言い、複数の人が同時に話さないようにします。

手話通訳者の派遣について

練馬区意思疎通支援事業

検索

点字資料

視覚障害者の中には、点字により情報を得たり、記録をしたりする人がいます。

音声データ

視覚障害者の中には、文字を音声データにして、パソコンなどで読み上げることで情報を得る人がいます。

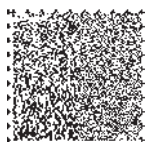
会議などの資料データを、事前にメールなどで提供するようにします。



情報保障 について

2016年4月、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)が定められました。「障害を理由とする差別」とは、障害を理由として、正当な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような行為をいいます(不当な差別的取扱)。また、障害のある人から何らかの配慮を求める意

思の表明があった場合には、負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要で合理的な配慮を行うことが求められています。社会的障壁のひとつとして、ホームページがすべて画像だと音声読み上げソフトが機能しない、難しい漢字ばかりの書類で理解しにくい人がいる、などがあります。だれもが同じ情報を得る権利、情報保障をすることが求められています。



だれもが同じように情報を得られるよう
 配慮することが法律で定められました。
 人により、情報入手の方法はさまざまです。

気づきの
ポイント

- 多様な人が参加できるように、印刷物以外の情報提供をすることも必要です。
- どのような方法による情報提供が必要か、本人に確認することが大切です。

本日はよろしく
 お願いします。
 自己紹介を始め
 ます。私の名前

ようやく ひっ き
 要約筆記

聴覚障害者の中には、文字により情報を得る人がいます。
 話し言葉を、手書きやパソコン入力により、文字情報にしてスクリーンなどに映し出します。

要約筆記者の派遣について

練馬区意思疎通支援事業

検索

ヒアリンググループ
 (磁気グループ)

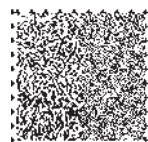
聴覚障害者(難聴者)の聞こえを支援する設備です。一定のエリア内に音声磁場をつくることで、補聴器からの音が聞きとりやすいようにするしくみです。

かく だい
 拡大コピー

視覚障害者(弱視者など)の中には、文字を拡大した資料から、情報を得る人がいます。

その他

- 知的障害者や外国人など、漢字が苦手な人が参加する会議では、資料にルビをつけたり、わかりやすい表現にすることが必要です。
- 視覚障害者や知的障害者などには、要望を伺って事前に資料の説明や朗読をする方法もあります。
- 一時保育、エレベーターや多機能トイレなどのバリアフリー情報の事前提供も必要です。



ねりま区報

てんじこえこうほう
点字・声の広報

がいこくごばんりょう
外国語版もご利用ください。

ねりま区報の内容をもとに、点字広報、声の広報(テープ版、デジジー版)を用意しています。また、毎年1・4・7・10月に外国語版(英語・中国語)を発行しています。

入手方法

●点字広報・声の広報

視覚障害のある方には無料で送付します。

広聴広報課広報係

☎ 03-5984-2690

✉ koho01@city.nerima.tokyo.jp

●英語版、中国語版

外国人住民の方に無料で送付するほか、区のホームページでもご覧いただけます。

外国語版区報 練馬区ホームページ

検索

点字広報



ねりま区報

デジジー版

DAISY
Format 2.02

平成29年 9月 1日号

声の広報
テープ版・
デジジー版



英語版
中国語版

UDトークの紹介

UDトークとは、コミュニケーションをサポートするアプリケーションです。話した内容をパソコンやスマートフォン等の画面に文字として映し出す機能等があります。障害者施策推進課等の窓口で利用できます。



外国語通訳システムの紹介

タブレット端末を活用した通訳サービス。外国人住民の方が、通訳者と画面越しに会話できます。対応言語は4カ国語(英・中・韓・ベトナム)で、練馬区民事務所の窓口で利用できます。



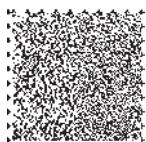
区民参加のワークショップで検討しました!

この冊子は、「練馬区相互理解のための小冊子作成にかかるワークショップ」で、区民の参加者と一緒に検討しながら作成しました。



練馬区ユニバーサルデザイン お互いの理解のために2 情報編

だれもが もっと自由に もっと楽しく まちに出るために
私にできる ちょっとしたこと



発行 練馬区 福祉部 管理課 ひと・まちづくり推進係
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6-12-1
TEL 03-5984-1296(直通) FAX 03-5984-1214

平成29年12月